

令和6年度おかやま学びたい賞 で「学びたい！」



©岡山県幼児教育センター
「もんちゃん」

令和6年度おかやま学びたい賞には、小学校35校から55作品、中学校17校から42作品の応募がありました。応募作品は、探究的な学習に取り組んだ学習の過程を振り返り、特に、受賞作品は、題材を自分事として捉え、自己決定し、試行錯誤を繰り返すなど、児童生徒の「学びたい！」が溢れるすばらしい作品でした。

令和6年度おかやま学びたい賞 受賞校

最優秀賞

【小学校の部】

笠岡市立神島外小学校「防災学び隊」

【中学校の部】

玉野市立荘内中学校

「地域振興イベント『桜花祭』実行委員会」

優秀賞

【小学校の部】

井原市立県主小学校「KATU」

和気町立佐伯小学校「佐伯小学校5・6年」

【中学校の部】

赤磐市立磐梨中学校「自分の町を守り隊」

県立岡山操山中学校「pulumulu」

新人賞

【小学校の部】

真庭市立檜邑小学校

「檜邑きらきらデザイナーズ」

矢掛町立山田小学校

「山田のチャ・チャ・チャ」

【中学校の部】

津山市立中道中学校「チーム1年1組」

新見市立新見第一中学校「一中2号車」

奨励賞

【小学校の部】

井原市立井原小学校「いばらあず」

高梁市立福地小学校「福地PR大作戦！」

美作市立大原小学校

「未来の大原を創る大原小庁」

浅口市立鴨方東小学校

「鴨方東小学校トレビスチーム」

和気町立本荘小学校「4Aなんでも解決団」

和気町立本荘小学校「和衷協同」

美咲町立柵原学園「柵原自然災害防衛隊」

【中学校の部】

井原市立美星中学校「美星プロジェクト」

井原市立木之子中学校

「木之子中学校1年生」

井原市立芳井中学校

「Go! 芳井 #Na tu:re」

新見市立哲西中学校「哲西 Creators」

新見市立哲西中学校

「ゆかいな11人の孫たち」

赤磐市立高陽中学校

「SMANYS (スマニーズ)」

赤磐市立磐梨中学校「米粉でHappy」

最優秀賞・優秀賞作品やフォーラムの様子は義務教育課HPから見られます。

<https://www.pref.okayama.jp/page/959872.html>



令和6年度おかやま学びたい賞 フォーラムより

2月14日(金)に行われた今年度のフォーラムは、31校43チームが12グループに分かれて意見交流をし、各グループのファシリテートを倉敷古城池高校、高梁城南高校、勝山高校の高校生が担いました。探究的な学習に取り組んだ過程の中で「うまくいかなかったな。」「困ったな。」「むずかしいな。」と感じたことについて意見交流をしました。地域や校種を超えた児童生徒がオンラインで交流する(フィードバックし合う)ことで、新たな気付きや学びを得ることができました。

想像以上にたくさんのチームが参加していた。それぞれ色んなイベントや取組を行っていて驚いたし、見方も広がった。(中学生)

これから高校に進学するが、フォーラムを通して情報の収集の仕方やそのまとめ方などを再度学ぶことができた。(中学生)

来年度新しい挑戦をする時には、「知識をもち、その知識をもちながら行動し、さらに行動しながら知識をさらに深め、また行動していく。」知ることと行うことを同時に行っていきながら、新しいものを生み出していってください!



中山 芳一
夢育アドバイザー

新しいことを知ることはなぜ必要なのでしょうか。私は「よりよい考え方・判断ができる」ようになることが、勉強をする一番大きな意味だと思っています。これからも、「こうしたい!」という思いをしっかりとちどんどん前に進んで欲しいと思います。



中村 正芳
教育長

他の地域のことも、もっと知りたいです。違うから面白いことが分かりました。(小学生)

小中学生が「問題を解決したいという思い」をもって学習に取り組んでいることが良い。失敗した先で何をすることが大切だと思う。失敗を恐れずにチャレンジして欲しい。(高校生)

探究的な学習をする中で「学んだこと」最優秀賞校へのインタビュー

笠岡市立神島外小学校



先生に聞きました!

Q: 探究的な学習を進めてきた中で、先生自身が変わったことはありますか?

A: 総合的な学習だけではなく、他の教科でも探究的な学びを意識して授業をするようになりました。特に、子ども達に学びを委ねるようになりました。生活科では、先生が「ああしよう、こうしよう」というのではなく、子どもの願いから学びが広がったり深まったりするよう、環境を整えるようになりました。

Q: 先生が変わったきっかけも教えてください。

A: 子ども達が主体的に考えたり、行動したりするようになっていく姿を見たことです。

玉野市立荘内中学校



生徒に聞きました!

Q: 探究的な学習の中で「うまくいかない」ときに、どのように解決していったのですか?

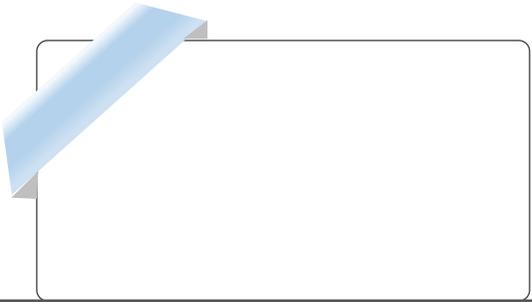
A: 先輩の姿を見ていたので、「ああなりたい!」というイメージを持っていました。地域の方や生徒会の仲間と相談して試行し、また相談して試行するうちに乗り越えることができました。

A: 今までそうやって乗り越えた経験があるから、桜花祭で「うまくいかない」ことがあっても、やりがいをもって取り組むことができました。

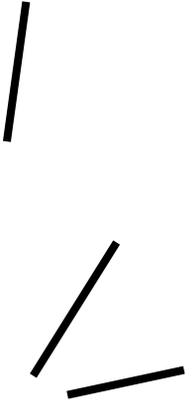
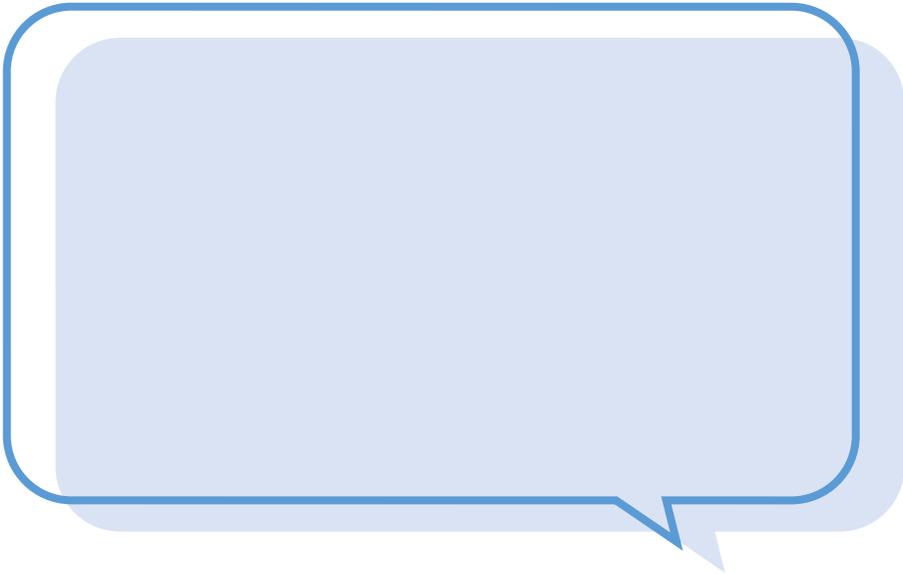
Q: 今後はどのようなことに取り組みたいですか?

A: 高校でも、組織に所属して人の役に立つこと、例えばボランティアなどにも挑戦してみたいです!

最優秀賞



令和6年度おかやま学びたい賞 受賞校



先生に
聞きました

